

平成29年度

社会福祉法人慈照会事業報告

通常規模型通所介護事業
認知症対応型通所介護事業
短期入所生活介護事業
訪問介護事業
居宅介護支援事業
介護老人福祉施設事業
ケアハウス事業
その他事業

平成29年度社会福祉法人慈照会事業報告

1. 総括

わが国経済は、好調な企業業績を背景に設備投資が増加し、個人消費は持ち直しの動きを見せるなど、民間需要を中心に着実な回復が進んだ。一方、海外においては米国の景気は底堅く推移し、欧州やアジア各国の経済も総じて成長が続いたものの、貿易摩擦等の予断を許さない情勢により、先行き不透明な状況が続いた。

当法人では、社会福祉法改正における社会福祉法人制度改革に対応し、新定款に則り、新役員体制をスタートした。

介護職員処遇改善加算の拡充への対応として、新加算（Ⅰ）を取得し支給額を増加するとともに、夜勤手当、土日、祝日手当を増額した。また、滋賀県の最低賃金のアップに合わせ、介護補助職員、運転手兼介助員、介護職員の時給をアップした。

主な備品等の購入、更新について、ドライブレコーダー11台の設置、特養車いす28台の更新、特養デイルームカーテンの新設、車両1台の更新（アルト）、パソコン4台の更新を実施した。大雪による業務への支障を考え、除雪車を購入した。また、職員の業務負担軽減のため、手書きの記録の電子化の準備を進め、次年度の導入を予定している。

東近江市社会福祉法人ラウンドテーブルに参加し、社会福祉法人として重要なテーマである地域貢献プロジェクトを積極的に進めた。

事業開始から20周年を迎え、20周年記念夏祭り、20周年記念敬老式典、20周年記念職員祝賀会等を企画実施した。20年に亘る多くの皆様の支援に感謝するとともに、今後のさらなる飛躍を目指したい。重点目標の取組みについては以下の通りである。

(1) 働きやすい職場づくりと人材の確保

人事評価の昇給、賞与への反映、処遇改善加算拡充による手当アップ、滋賀県最低賃金アップに伴う時給アップ、20周年記念職員祝賀会実施、記録の電子化導入準備、HAL腰タイプ介護支援用体験会実施、福利厚生の実施（永年勤続表彰制度）

(2) キャリアパスに対応した中長期的な職員教育体制の構築

人事制度の定着と活用、滋賀県老人福祉施設協議会研究大会事例発表⇒奨励賞受賞、認知症研修への積極的な派遣、研修講師派遣

(3) 地域に求められる支援・交流・貢献の推進

東近江市社会福祉法人ラウンドテーブルに参画し地域貢献プロジェクト作成、地域サロン支援、地域サロン交流会、建部福祉を語る場への参加、三方よし研究会の初任者研修への会場提供と講師派遣、認知症対応型通所介護運営推進会議の実施、滋賀県老人福祉施設協議会副会長、東近江介護サービス事業者協議会会長、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会役員活動

※【地域交流・貢献等】参照

2. 事業別報告

【通常規模型通所介護事業】（定員：30名）

予防を含む一日平均利用人数は、27.9名（昨年比105.2%）となった。

重点目標：計画的なリハビリを確立し、ご利用者の生活の維持・向上を図る

個々のリハビリメニューの作成、体操の方法・内容等の見直し、リハビリ機器の導入により、ご利用者の生活の維持・向上を目指す。

結果：介護職と看護職の連携によるリハビリはできず、看護職員の人員により、リハビリ人数が少なくなった。体操の見直しはできなかったが、新たなリハビリ機器を導入した。

【認知症対応型通所介護事業】（定員：12名）

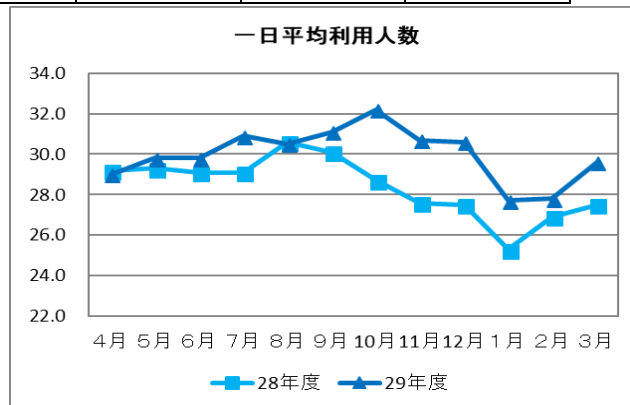
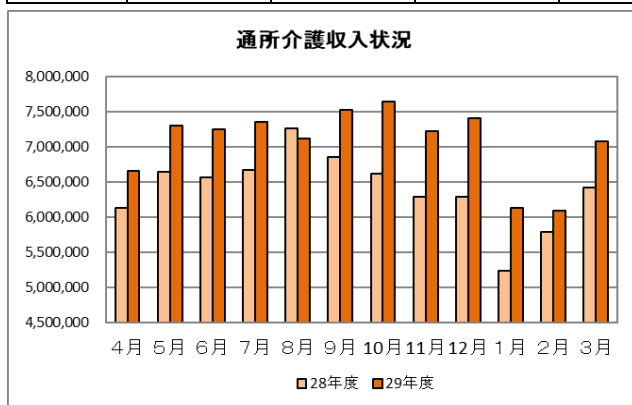
一日平均利用人数は、1.8名（昨年比94.7%）となった。

重点目標：ご利用者一人ひとりに合ったサービスの充実

タイムスケジュールの作成、認知症ケアのスキルアップによりサービスの充実を目指す。

結果：タイムスケジュールの見直しはできなかったが、個別対応による利用者に向けた対応はできた。スキルアップのため滋賀県認知症基礎研修に2名参加した。

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	通常規模	認知症対応型	合計
4月	25	108	7	2.3	25.5	1.2	29.0
5月	27	98	2	2.7	25.5	1.6	29.8
6月	26	97	1	2.5	25.7	1.6	29.8
7月	26	93	0	2.8	26.6	1.5	30.9
8月	27	97	6	2.6	26.4	1.5	30.5
9月	26	99	3	2.3	27.1	1.7	31.1
10月	26	98	7	2.7	27.4	2.1	32.2
11月	26	94	2	2.7	26.1	1.9	30.7
12月	26	97	4	2.6	25.7	2.3	30.6
1月	24	86	1	2.5	23.2	2.0	27.7
2月	24	86	3	2.6	22.9	2.3	27.8
3月	27	90	3	2.8	23.5	2.3	28.6
年間	310	1143	39	2.5	25.4	1.8	29.7



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

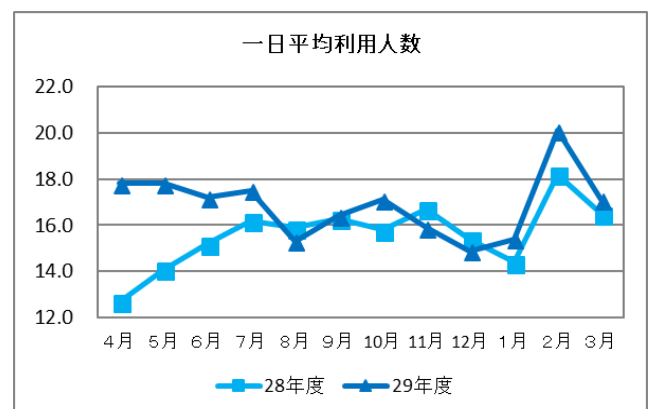
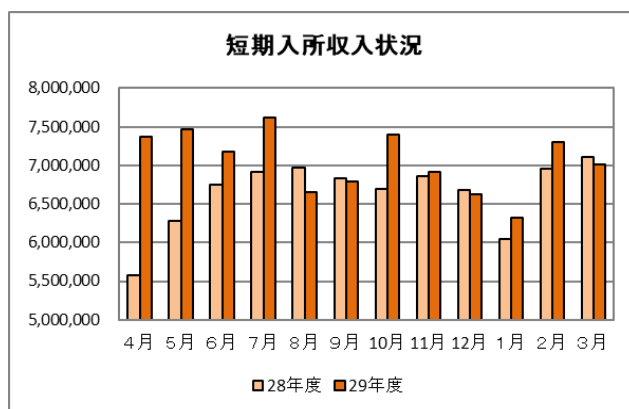
新規利用者66名（昨年比85.7%）、一日平均利用人数は16.8名（昨年比107.0%）稼働率105.3%と昨年を上回る利用状況となった。

重点目標：重点目標：「ご利用者へのやさしさ」を大切に明るく思いやりのある介護を目指す
 私たちは、1. 思いやりのある心で対応します、2. 笑顔で対応します、3. チームワークを大切にします。

結果：利用者へのやさしさや思いやりを皆で話し合う場を持ち、共有できた。結果、相手の立場に立って考え、行動できるようになった。また、職員同士の思いやり（あいさつやありがとうの気持ち）を持つことでチームワーク向上に繋がった。

利用状況

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率(%)
4月	6	73	17.8	111.3
5月	2	82	17.7	110.9
6月	5	81	17.0	106.5
7月	2	84	17.5	109.7
8月	3	72	15.2	95.2
9月	9	79	16.3	102.1
10月	9	81	17.1	107.0
11月	2	80	15.9	99.6
12月	10	79	14.8	92.5
1月	3	66	15.4	96.2
2月	8	73	20.0	125.2
3月	7	71	17.1	106.9
年間	66	921	16.8	105.3



【訪問介護事業】

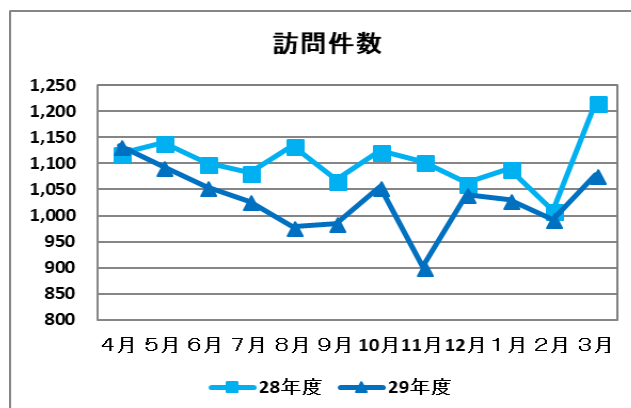
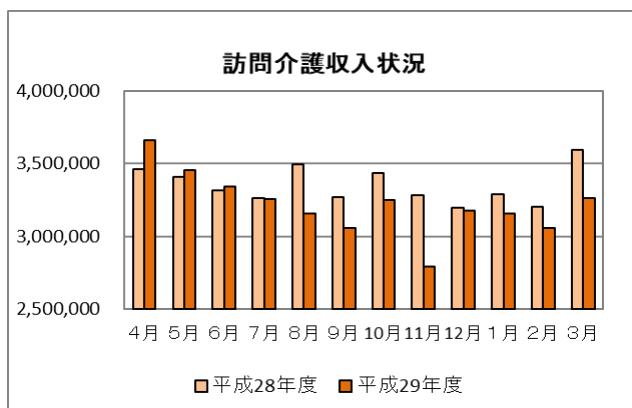
登録ヘルパーの減もあり、新規利用者15件（昨年比50%）、延訪問件数は12,362件（昨年比93.2%）と昨年を下回った。

重点目標：ご利用者の人生の困難な時期に関わる意識を持ちサービスの提供その人らしい生活を安心安全に過ごしてもらう。常にきめ細かく、心からのサービスに徹する。ご利用者、ご家族に配慮した、穏やかなサービスを提供する。

結果：しっかりと連絡に落ち度がないようにしてきた。利用者さんも今まで出来ていたことができなくなっていくことも多くあり、小さなことでも見逃さなく、気づきを大切にし、連絡には十分に気を付けてきた。利用者さん個々に対応も違うので、覚えることがたくさんあるので、大変であった。サービスの標準化を重視し、繰り返し繰り返しみんなが同じケアができるように努めた。

利用状況

月	予防		介護		予防+介護	
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数
4月	18	62	53	1072	71	1134
5月	17	89	55	1005	72	1094
6月	16	87	47	970	63	1055
7月	14	78	55	949	69	1027
8月	14	74	54	904	68	978
9月	14	76	50	909	64	985
10月	15	72	53	983	68	1055
11月	12	58	46	844	58	902
12月	12	66	51	975	63	1041
1月	13	62	48	968	61	1030
2月	14	70	55	923	69	993
3月	12	70	51	1008	63	1078
年間	171	864	618	11510	789	12362



【居宅介護支援事業】

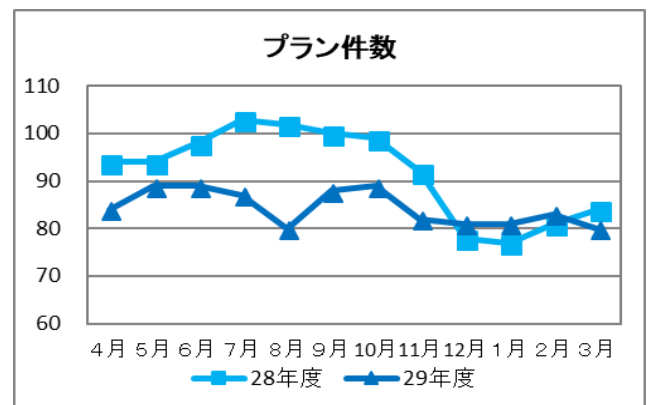
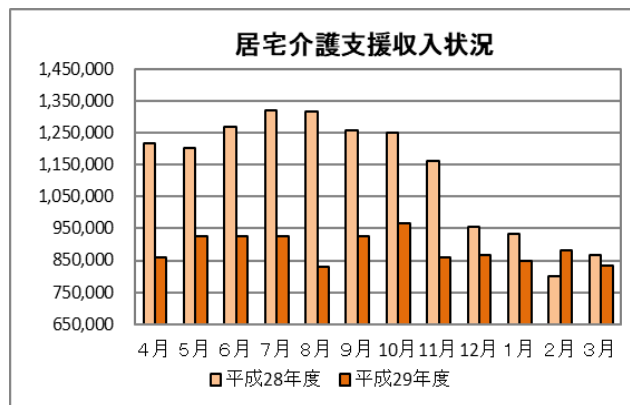
介護支援専門員の確保ができず、新規利用者が17件（昨年比65.3%）、年間プラン件数は1013件（昨年比91.9%）と昨年を大きく下回った。

重点目標： 地域生活から看取りまで本人の自立支援に意識を置いた個別プラン作りへ
地域での生活から看取りまでの各生活のステージに応じて、客観的根拠と本人の物語を織り交ぜた個別プランを作っていく。

結果： アローチャートを使ったアセスメント手法や、関連性を示す課題整理総括表の活用により、よりプラン作成に自信を持つことができるようになった。また会議等で課題や目標を共有する際のツールとして使用することで、多職種連携がしやすくなった。本人の物語については生活史の聞き取りを心掛けることで担当との距離が縮まってきたと感じる。ただ、余裕がなく業務に追われた感が否めず、人員の補充と部署内連携は引き続き課題となる。

利用状況

月	新規利用	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	4	5	11	27	18	10	9	4	84
5月	5	4	10	29	23	11	8	4	89
6月	1	4	10	30	21	11	9	4	89
7月	1	3	10	31	20	12	7	4	87
8月	0	3	9	28	19	10	8	3	80
9月	0	3	9	31	21	11	9	4	88
10月	1	4	9	30	20	13	8	5	89
11月	0	4	8	28	19	10	8	5	82
12月	1	3	9	27	19	9	9	5	81
1月	0	3	9	27	19	9	9	5	81
2月	3	6	8	25	21	8	8	7	83
3月	1	5	8	26	17	7	11	6	80
年間	17	47	110	339	237	121	103	56	1013
月平均	1.4	3.9	9.2	28.3	19.8	10.1	8.6	4.7	84.4



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

一日平均在居人数は、48.7名（昨年比93.4%）となり昨年を大きく下回った。年間を通じて入院者が多く、1月、2月のインフルエンザの集団感染による入院者が大きく影響した。感染症予防策、職員教育等を継続して進めてきたが、集団感染が発生した。今回の反省を次年度に活かしたい。

重点目標：職員の知識、技術の向上を図り、入居者の生活の質の向上を目指す。

入居者の皆様の生活の向上を目標に、さまざまな方法を検討、実践し、職員の知識、技術の向上に取り組む。

結果：特養会議にて課題について考える場を提供し、勉強会を実施してきたが、会議以外に職員主体の研修や勉強会の開催は少なく、職員の知識・技術向上への働きかけが不足した。基本的な技術や知識の標準化について、課題が残った。

平成30年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	1	1	1	2	0	3	1	1	0	2	4	16
退居	1	1	1	1	2	1	2	1	0	2	2	2	16
在籍者数	54	54	54	53	53	52	54	54	54	53	53	54	54
在居人数	50.3	50.5	50.2	48.2	48.6	48.4	47.8	50.1	51.3	44.2	45.0	49.9	48.7

入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	15.2ヵ月	51.1ヵ月	47.8ヵ月

在居期間	男性	女性	計	構成比(%)
1年未満	3	12	15	9.3
1年以上2年未満	0	4	4	11.1
2年以上4年未満	2	9	11	35.1
4年以上6年未満	0	11	11	29.6
6年以上8年未満	0	9	9	5.6
8年以上10年未満	0	1	1	1.9
10年以上	0	3	3	7.4
合計	5	49	54	100.0

入居者年齢状況

	男性	女性	全体
最高年齢	90	101	101
最低年齢	80	74	74
平均年齢	83.8	87.4	87.1

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
70～74歳	0	1	1	1.9
75～79歳	1	6	7	13.2
80～84歳	2	8	10	18.9
85～89歳	1	15	16	30.2
90～94歳	1	11	12	22.6
95～99歳	0	6	6	11.3
100歳～	0	2	2	3.8
計	5	49	54	100.0

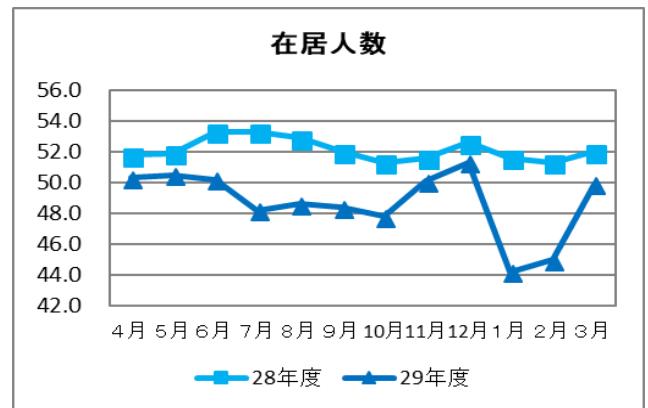
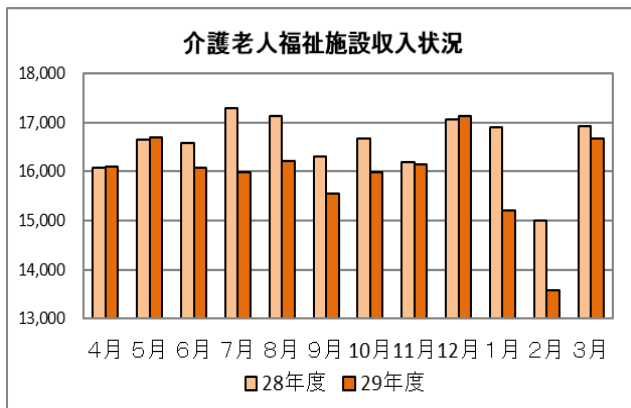
要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	6	7	14	15	12	54
構成比 (%)	11.1	12.9	26	27.8	22.2	100.0

平均要介護度 3.31

待機者数

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	3	3	33	39	14	92
構成比 (%)	3.3	3.3	35.9	42.4	15.2	100.0



【ケアハウス事業】（定員：15名）

年間を通じて、2名の入居、2名の退居であったが、満床維持は出来なかった。施設見学者は10名、申込は4名であった。

重点目標：広報活動の工夫により待機者を確保し、定員の満床を目指す

相談機能の向上（職員のスキルアップ、定期的なアンケート等）や行事の充実、より良い住環境の追求、認知症予防や身体機能維持にも力を注ぎ、生き生きとした生活を送ってもらえるように努める。

結果：広報活動においては、ホームページの活用が進まなかった。入居者の重度化予防に力を入れ、出来る事はやってもらうことを日々の生活リハビリとし、週6日体操を実施して身体機能維持に努めた。デイ利用者の増加により外出行事は少なくなったが、施設内行事は充実したものとなった。

平成30年3月31日現在

施設見学者 10名 申込者 4名 新規入居者 2名 退居者 2名（内訳：2名長期入院）

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
退居	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
入居者数	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	14	14	—

平均入居年数 男性 3年7ヶ月 女性 5年9ヶ月 全体 4年8ヶ月

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65～69歳	0	0	0	0.0
70～74歳	0	0	0	0.0
75～79歳	0	1	1	7.1
80～84歳	2	0	2	14.4
85～89歳	2	3	5	35.7
90～94歳	3	2	5	35.7
95～99歳	0	1	1	7.1
100歳～	0	0	0	0.0
合計	7	7	14	100.0

最高年齢 男性 92歳 女性 96歳

最低年齢 男性 81歳 女性 75歳

平均年齢 男性 87.5歳 女性 88.2歳 全体平均 87.8歳

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	3	2	1	5	2	1	0	0	14
構成比 (%)	21.5	14.3	7.1	35.7	14.3	7.1	0.0	0.0	100.0

平均要介護度 男性 要介護1 女性 要支援2 全体 要支援2

待機者： 個室 4名 2人部屋 0組

3. その他事業

【配食サービス】

営業日数310日、食数974食（昨年99.7%）、一日平均3.1食（昨年比100%）であった。

【委員会活動等】

（研修教育体制チーム）会議開催数3回

施設内全体研修会を6回実施。感染症研修についてはビデオ研修により全職員に受講してもらった。委員会活動は低調であった。

（事故、苦情防止委員会）委員会開催数3回

月間の事故、苦情分析を周知。初めて各事業所単位の研修を1～2回実施し、全体研修を1回実施した。交通安全DVD研修も実施した。委員会活動は低調であった。

（環境整備委員会）委員会開催数6回

感染症予防として、施設内ポスター掲示。職員交流会としてボーリング大会、夏祭り打ち上げ、法人忘年会の企画実施。法人事務局と協働し20周年慈照会職員祝賀会を企画実施。エアコンフィルター清掃、除草作業、窓ふきについては、施設管理部門にて実施。環境整備活動は不十分であった。

【衛生委員会】

テーマのマンネリ化防止のため、多くの新テーマにて実施した。

4月	年間計画及び議題について	10月	健康教育について
5月	5月病について	11月	感染症対策について
6月	職場の整理整頓について	12月	健康診断結果について
7月	夏バテ予防について	1月	ハラスメントについて
8月	ワークライフバランスについて	2月	過労死について
9月	メンタルヘルスについて	3月	運動習慣について

【職員研修】

外部研修及び会議に延280名を派遣した。滋賀県認知症介護基礎研修に10名、実践者研修に3名、管理者研修に1名参加した。施設内研修は、全体研修、事業所別研修を実施した。

※事業所別研修会

実施日	テーマ	講師	参加者数
10月6日、9日	身体拘束廃止研修会・特養	特養職員（岩田）	12名
11月28日	リスクマネジメント研修・ケアハウス	ケアハウス職員（木下）	2名
12月12日、19日	リスクマネジメント研修①・短期入所	短期入所職員（中村）	9名
2月16日、21日、26日	リスクマネジメント研修②・短期入所	短期入所職員（中村）	14名
2月27日	リスクマネジメント研修・特養	特養職員（前田）	11名
3月27日	褥瘡拘縮予防勉強会・特養	特養職員（前田）	9名

※全体研修会

実施日	テーマ	講師	参加者数
4月3日～6日	新人職員入社時研修	法人職員	1名
5月14日	普通救命講習	東近江行政組合八日市消防署救急係	12名
7月4日～9日	食中毒予防に関するDVD研修		63名
9月12日～19日	交通安全DVD研修		67名
9月28日	人権学習会・ハラスメント	社会保険労務士 岩井由紀子氏	18名
11月24日	HAL介護支援用体験研修会	リコージャパン社員	16名
12月5日	感染症予防について	サラヤ株式会社スタッフ	27名
12月7日～20日	「感染症予防について」映像研修	サラヤ株式会社スタッフ	45名
3月19日	リスクマネジメント研修	クローバー 中村真理氏	22名

【地域交流・貢献等】

三方よし研究会主催の介護職員初任者研修（約6ヶ月）に、会場提供、講師派遣により協力した。地域行事を実施、地域行事にも参加、各種団体との交流を進めた。社会福祉法人ラウンドテーブルに参画し、地域貢献プロジェクトを作成した。

日付	内容	参加者数
5月19日～21日	青葉メディカル作品展示	20名
6月22日	建部幼稚園交流会	48名
7月5日	建部民協会議	12名
8月27日	20周年記念カルナ納涼夏祭り	345名
9月12日	社会福祉法人ラウンドテーブル事前説明会	32名
9月24日	建部日吉町ふれあいサロン職員派遣	30名
9月30日	建部幼稚園運動会	5名
10月7日～2月18日	介護職員初任者研修	8名
10月8日	20周年記念カルナハウス敬老会	200名
10月25日	第1回社会福法人ラウンドテーブル	25名
10月31日	第1回認知症対応型通所介護運営推進会議	7名
11月7日	建部幼稚園交流会	65名
11月17日	竹鼻サロン職員派遣	20名
11月24日	第2回社会福法人ラウンドテーブル	26名
12月18日	第3回社会福法人ラウンドテーブル	23名
3月9日	第4回社会福法人ラウンドテーブル	25名
3月28日	第2回認知症対応型通所介護運営推進会議	6名

【20周年記念事業】

夏祭り、敬老会、マグロ解体ショーについて、20周年記念イベントとして実施した。慈照会職員20周年記念祝賀会を実施した。

【講師派遣、事例発表等】

日付	内容	派遣職員
6月9日	介護支援専門員研修専門課程Ⅰ・Aコース	前田
7月7日	介護支援専門員研修専門課程Ⅰ・Bコース	前田
8月5日	介護支援専門員研修専門課程Ⅰ・Cコース	前田
9月8日	介護支援専門員研修専門課程Ⅱ・Bコース	前田
9月16日	外国人介護職員初任者研修「介護保険」	後藤
10月8日	三方よし主催初任者研修「自立に向けた支援」	前田
10月21日	三方よし主催初任者研修「介護保険」	後藤
11月6、7日	介護支援専門員研修専門課程Ⅱ・Fコース	前田
11月9日	滋賀県老人福祉施設協議会第8回研究協議大会	野田香、佐藤
11月25日	三方よし主催初任者研修「生活と家事」	坪田
12月17日	第2次東近江市地域福祉活動計画フォーラム	後藤
1月28～30日	介護支援専門員実務研修	前田
2月3日	三方よし主催初任者研修「介護課程の基礎的理解等」	岩田
2月4日	三方よし主催初任者研修「総合生活支援技術演習」	野田明

【実習生、ボランティアの受け入れ】

学校等より19名の実習生を受け入れした。また、多くの団体、個人のボランティアの皆様にご支援とご協力を頂いた。

実習
◇ 聖徳中学校 職場体験学習 2名
◇ 滋賀学園高校 介護職員初任者研修・介護福祉現場実習 13名
◇ びわこ学院短大 介護福祉士養成コース 介護実習 4名
ボランティア
<団体>
◇ すみれ会（大正琴） ◇ 公益社団法人顔と心と体研究会（リハビリメイク）
◇ ひまわり会（喫茶・敬老会） ◇ 杉の子会（夏祭り） ◇ 湖東信用金庫（夏祭り）
◇ 滋賀銀行（夏祭り） ◇ 中島商事（夏祭り） ◇ ワークホームズ（夏祭り）
◇ ライフテックミツダ（夏祭り） ◇ 株式会社大和（夏祭り） 株式会社アルティ（夏祭り）
◇ 建部民生児童委員（除草作業・夏祭り） ◇ 建部日本赤十字奉仕団（除草作業・窓拭き）
◇ グループ燦燦（体操、ダンス等） ◇ さざんかコーラス（コーラス）
<個人>
◇ 江頭翼（歌謡） ◇ 松尾貴臣様（ホスピタルライブ）

【消防・防災】

総合訓練2回（うち消防署立会1回）、夜間想定訓練2回、業者による消防設備点検2回を実施した。計画的な実施に課題が残った。

4. 年間行事等

4月	3日入社式、職員全体会議	10月	8日カルナハウス敬老式典 6日入居者健康診断 18日職員健康診断・ストレスチェック 24日入居者インフルエンザ予防接種 31日職員インフルエンザ予防接種
5月	9日消防設備機器点検① 31日監事監査 31日第1回総合避難訓練	11月	7日職員インフルエンザ予防接種 2～24日文化月間（展示） 9日滋老協研究大会（5名参加） 10日消防設備機器点検② 17日第3回理事会 30日評価者会議
6月	1日第1回理事会 1日平成28年度打ち上げ 7日評価者会議 16日第1回評議員会 16日第2回理事会	12月	2日建部日赤窓拭き作業 21日法人忘年会
7月	5日職員交流ポーリング大会 11～12日近畿老人福祉施設研究協議会 和歌山大会（4名参加） 25日第1回夜間想定避難訓練 29日建部日赤除草奉仕作業	1月	1日年賀式
8月	5日建部民協中庭剪定奉仕作業 27日カルナ納涼夏祭り 30日夏祭り打ち上げ	2月	
9月		3月	9日第2回夜間想定避難訓練 19日夜勤者健康診断 22日第2回総合避難訓練 23日監事監査 27日第3回理事会（事業計画、予算） 28日慈照会職員20周年記念祝賀会

※その他施設内会議

スタッフ会議（週1回） デイショート会議（月1回） ヘルパー会議（月1回）

居宅介護支援事業所会議（月1回） 特養会議（月1回） ケアハウス会議（月1回）

事務会議（月1回） 給食会議（月1回） 経営会議（月1回）